

福井市ガス事業

経営効率化計画及び進捗状況について

平成23年6月

福井市企業局

1. はじめに

福井市企業局は、公営のガス供給事業者として、ガスの長期安定供給、ガスの保安確保を第一にガス事業を行なっております。

天然ガス転換が終了した平成16年度より、経営の一層の効率化による経営基盤の強化、料金の低廉化、環境負荷の低減等をめざし経営効率化目標を設定、その達成に向けて努力しております。

なお、平成22年度末までの実績は以下のとおりです。

2. 経営効率化目標と進捗状況

(1) 設備投資の合理化

【目 標】

導管の布設工事は、環境に配慮した再生砕石や再生アスファルト合材の利用促進、浅層埋設及び非開削工法の導入等で積極的に工事の合理化を推進し工事費の削減に取り組んでいきます。

【進捗状況】

ガスの長期安定供給や保安確保のため、計画的な導管布設や経年管更新は欠かすことができませんが、設備投資の合理化、工事費の削減も重要な問題です。

そこで、工事費用節減に効果があり、耐食性、耐震性に優れ、より経済的なPE管（ポリエチレン管）の採用と、浅層埋設も継続して積極的に推進しています。

また、交通量の多い国道・県道や舗装復旧費の高い道路並びに水路での横断等、導管布設工事の困難な箇所では非開削工法を取り入れています。

さらに、水道などの他工事業者との共同施工をすすめ、同一箇所における掘り返しの解消、管土工費、路面復旧費、管理費の削減などの効果をあげています。

◎ポリエチレン管（PE管）布設状況

(単位 m)

年 度	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績
布 設 延 長	4,605	4,276	10,275	9,657	9,656
延 長 累 計	81,351	85,627	95,902	105,559	115,215

管総延長	447,004	447,413	448,165	449,586	452,439
うちPE管普及率	18.2%	19.1%	21.4%	23.5%	25.5%

(2) 保安の確保

【目 標】

本支管のうち、白ネジ鋼管やねずみ鋳鉄管については、計画的に耐震性に優れたポリエチレン管に取り替えていきます。

【進捗状況】

白ネジ鋼管及びねずみ鋳鉄管からポリエチレン管への計画的な入替を進めています。

平成 19 年の北見市のガス漏洩事故を受け、ねずみ鋳鉄管については、漏洩調査を毎年行うとともに、平成 32 年度（2020 年度）に対策を完了させる計画を 5 年前倒しし、平成 27 年度（2015 年度）に対策を完了させる予定です。白ネジ鋼管については、平成 32 年度（2020 年度）に対策を完了させる予定です。

また本年 2 月には、本市において解体工事中にガス爆発事故が発生したことから、使用休止となっているガス管へ保安シールの貼付や、解体業者に対する安全講習会の実施、解体時の事前届出の徹底などを行いました。

◎ 白ネジ鋼管入替状況

(単位 m)

年 度	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績
入替延長	2,996	2,156	4,899	3,443	3,251
延長累計	26,358	28,514	33,413	36,856	40,107
入替進捗率	43.8%	47.4%	55.5%	61.2%	66.6%

*平成元年時の残存延長

60,197 m

◎ ネズミ鋳鉄管入替状況

(単位 m)

年 度	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績
入替延長	743	1,632	3,230	3,936	3,586
延長累計	36,257	37,889	41,119	45,055	48,641
入替進捗率	61.8%	64.6%	70.1%	76.8%	82.9%

*平成元年時の残存延長

58,688 m

平成 17 年度に、専用 I S D N 回線を利用したガバナ遠隔監視テレメーターシステムから、PHS を利用した整圧器遠隔監視システムに更新しております。このシステム導入により、圧力センサーで計測されたガバナ子局のガス圧を、定期的に本市のパソコンへ転送し、専用ソフトにより自動的に記録、瞬時に分析ができるようになり、巡回点検業務の効率化と、ガバナの常時遠隔監視による保安レベルのより一層の向上を実現しています。同等システムを更新した場合に比べて、設備費・通信費・電力費の大幅な削減が実現し、あわせて設備更新費用の合理化も実現しています。

また、21 年度には企業局庁舎前に地震計を設置して、震度に応じた初動体制が取れるようになっていきます。さらに移動式ガス発生装置を購入し、災害時や漏洩事故等による供給遮断にも迅速に対応可能になりました。

(3) 需要家サービスの向上

【目 標】

お客様窓口のサービス向上とガス料金メニューの充実を図ります。

【進捗状況】

ガスと水道のお客様窓口をひとつの課（料金課）に統合して同じフロアに並べ、料金収納及び問い合わせ等の連携を密にすることによりサービスの向上を図っています。

現在、一般料金のほかに下記 12 種類の選択約款を設け、お客様の多様なニーズに対応するガス料金メニューをご用意しています。

なお、平成 21 年 4 月 1 日には熱量変更に伴う繰延勘定償却が終了した事により、小口部門料金を平均 1.78%引き下げる料金改定を行いました。

- ① 小型空調契約（第 1 種・第 2 種・第 3 種）
- ② 空調夏期契約（第 1 種・第 2 種・第 3 種）
- ③ 時間帯 B 契約（第 1 種・第 2 種）
- ④ 家庭用空調・床暖契約
- ⑤ 輸送向け圧縮天然ガス用 A 契約
- ⑥ 家庭用コージェネレーション契約
- ⑦ 家庭用オールガス契約
- ⑧ 24 時間契約（第 1 種・第 2 種・第 3 種）
- ⑨ 業務用空調床暖コンビネーション契約（第 1 種・第 2 種・第 3 種）
- ⑩ 業務用床暖房契約
- ⑪ 業務用季節別契約（平成 20 年 3 月 21 日 実施）
- ⑫ エコジョーズ契約（付帯契約）（ ” ” ）

平成 17 年 4 月より、ガス料金のコンビニエンスストアでの収納を開始しました。お客様の利便性が向上しただけでなく、検針業務に新型ハンディ端末を導入したことにより、検針時に納付書の即時発行が実現。納付書の郵送料が不要になったため、実施前に比べて年間約 300 万円のコスト削減になるとともに、料金の早期納入効果や、職員が行っていた納付書の仕分け作業等の手間も省くことができました。コンビニエンスストア収納導入前に比べて、収納件数 0.5%増、収納額 1.8%増、滞納額が 1.9%減となっています。

平成 18 年 12 月に越前エネライン、敦賀ガス、福井県エルピーガス協会などの県内のガス供給事業者と連携して「福井県ガス体エネルギー普及促進協議会」（Gライン福井）を設立し、さらに平成 21 年 10 月には北陸 3 県の Gラインが結集して「Gライン北陸」を設立するなど、共同で PR 活動を行っています。

平成 19 年 10 月には、企業局庁舎内に最新ガス器具を体感できる施設「ガスクッキングスタジオ」を開設しました。毎週、地元テレビ局の料理番組の収録が行われている他、市民の方々にも広く開放しています。また毎年行われる「全国親子クッキングコンテスト 福井地区大会」の実技審査会場にも利用しています。

平成 21 年 3 月には、福井市中心市街地に福井市企業局アンテナショップ「G. C o o k」をオープンし、ガスの魅力を市民に P R するとともに、中心市街地の賑わいづくりにも貢献していきます。

また、平成 22 年度中には営業開発課を企業局庁舎 1 階に移動し、料金課カウンターを改修し、より一層のお客様の利便性向上を図りました。

(4) 需要拡大によるガス販売量の増加

【目 標】

業務用ガス空調、業務用床暖房をはじめとする業務用需要、工業用等の高負荷需要の獲得を進め、負荷平準化及びガス販売量の増加を図ります。

【進捗状況】

平成 20 年 3 月から新選択約款「エコジョーズ(高効率給湯器)契約」と「業務用季節別契約」を実施しています。「エコジョーズ契約」によるエコジョーズの普及により、家庭用需要家のガス離れの防止をはかるとともに、床暖房、浴室乾燥やミストサウナなど、新たな家庭用熱需要の獲得を目指していきます。

さらに、「業務用季節別契約」により新たな業務用、工業用等の高負荷需要の開発にも努めています。

大口需要については、平成 18 年 5 月から大口供給を開始しており、順調に需要家を獲得しております。

◎ ガス販売量等

(単位 千m³、%)

年 度	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績
家 庭 用	7,928	7,636	7,152	7,043	6,832
伸 び 率	△ 5.3	△ 3.7	△6.3	△1.5	△3.0
商 業 用	2,594	2,569	2,481	2,413	2,438
伸 び 率	△ 9.0	△ 1.0	△ 3.4	△ 2.7	1.0
そ の 他	2,756	3,215	3,250	3,172	3,693
伸 び 率	△ 5.0	16.7	1.1	△ 2.4	16.4
工 業 用	4,376	9,167	9,231	10,299	11,025
伸 び 率		109.5	0.7	11.6	7.0
合 計	17,654	22,587	22,114	22,927	23,988
伸 び 率	25.0	27.9	△2.1	3.7	4.6

[家庭用]

(単位 件、m³/月)

年 度	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績
延調定戸数	294,821	287,064	279,640	272,827	265,652
1戸当り販売量	26.9	26.6	25.6	25.8	25.7

(5) 職員数の抑制

【目 標】

OA 化の推進、組織の改編及び一部業務の民間委託などにより、効率化に努め、職員数を削減します。

【進捗状況】

◎ 職員数

(単位 人)

年 度	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績
職員数	43	44	44	42	41

平成 19 年度で職員数 44 人となり目標の職員数削減を達成しています。平成 15 年度に職員 1 名に 1 台パソコンの配備が完了しており、庁内 LAN の活用などで事務の効率化を進めてきました。

また平成 21 年度には、市長部局も含めた主要システムの統合を行い、より一層の事務効率化・ペーパーレス化を図りました

(6) 環境への取り組み

【目 標】

公営のエネルギー事業者として地球環境の保全に努めていきます。

【進捗状況】

本市では、これまでクリーンエネルギー天然ガスの導入、天然ガス自動車の導入、エコ・ステーションの開設などに取り組んできましたが、今後も家庭用及び業務用省エネ型ガス機器の普及、天然ガス自動車の普及、工業用熱源の天然ガス転換促進などを通じて地球環境の保全に努めていきます。

平成 21 年度には企業局庁舎前、また平成 22 年度には福井市ガス工場に、環境にやさしい次世代エネルギー源として期待のかかる、家庭用燃料電池「エネファーム」を設置し、来訪者に直接見ていただくことにより PR を図っています。

また、本市が行う事務・事業から発生する環境負荷を低減させるため、平成 11 年 10 月 28 日に環境国際標準規格「ISO14001」の認証を取得（審査登録）しました。

そして、更なる環境負荷低減を目指した継続的改善に努めており、平成 17 年 10 月 28 日、第 2 回目の認証を更新しましたが、平成 20 年度の第 3 回目更新は行わず、福井市独自の特色を生かすため、「自己宣言」へと移行しました。

登録番号 : JSAE 166 (初回登録日 : 1999 年 10 月 28 日)
(第 1 回更新登録日 : 2002 年 10 月 28 日)
(第 2 回更新登録日 : 2005 年 10 月 28 日)
(自己宣言移行日 : 2008 年 10 月 28 日)

適用規格 : JIS Q 14001 : 2004, ISO 14001 : 2004

※「自己宣言」とは、組織が運用している環境マネジメントシステムが、国際規格 ISO14001 の規格に適合していることを自ら宣言することです。